

道央のものづくり

産業支援事業ガイド

No.12

2024年4月発行



Rapidus株式会社 北海道千歳工場「IIM-1(イーム・ワン)」起工式(2023年9月1日挙行)

公益財団法人道央産業振興財団

産業支援事業ガイド2024

技術者の育成、ものづくりを支援します！

道央地域《苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町》に所在する
中小企業等が支援事業の対象です（みなし大企業は対象外です）。

《実施要綱は、当財団のホームページをご覧ください》

1. 研究開発の支援

申請期限：5月31日（金）17時

【詳細はP3をご覧ください】

中小企業が行う技術開発や技術の活用研究等に要する経費の助成など、地域の高度技術の研究開発に寄与する事業を実施します。

①新技術・新製品開発助成事業

中小企業の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用が可能な技術開発事業
- ・市場化が可能な製品開発事業
- ・生産設備の高度化、生産工程の合理化を図る事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



②技術開発の芽育成助成事業

中小企業の技術開発の促進を図るため、新技術・新製品等の研究開発を行う上で、課題解決に必要な試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の研究開発事業
- ・市場化への可能性等の研究開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、
外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、
デザイン開発費、その他経費



2. 製品開発の支援

申請期限：5月31日（金）17時

【詳細は下段をご覧ください】

地域技術の応用や地域資源を活用した製品開発に要する費用の助成など、地域における製品開発を支援する事業を実施します。

①製品開発助成事業

地域の企業等が有する技術の応用による製品化及び商品化を行うため、商品開発、情報収集、販路拡大などの事業を行う中小企業に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・産業化への応用等の開発事業
- ・市場化への可能性等の開発事業

対象経費

原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、分析依頼費、情報収集費、デザイン開発費、消耗品費他



②地域資源活用助成事業

地域の農産物等の資源を活用した製品・商品開発等の促進を図るため、付加価値の高い製品・商品開発を行う中小企業等に対し、製品開発に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・地域の資源を活用した新製品、新商品の開発
※農・畜産・林産・水産・地下資源を活用した事業

対象経費

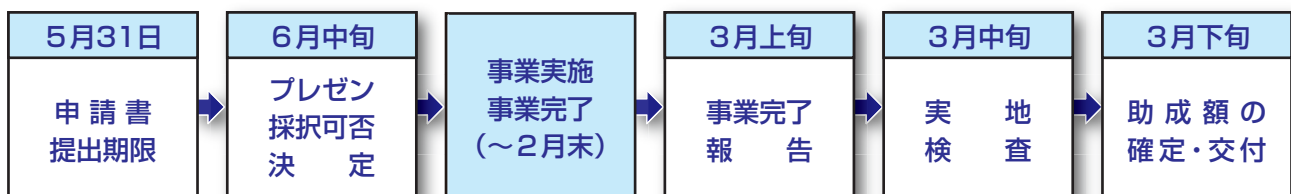
原材料費、副資材費、機械装置費、備品費、外注加工費、技術指導費、委託費、デザイン開発費、消耗品費他



《 助成事業 (P2.P3) の申請書提出期限等について 》

- 1) 申請書の提出期限は、1. 研究開発の支援(P2)、2. 製品開発の支援(P3)を **5月31日(金)17時必着** とし、その他の事業は、お問い合わせください。
- 2) 実施要綱、申請書などは、(公財)道央産業振興財団のホームページから、ダウンロードしてください。

～助成事業（研究開発の支援及び製品開発の支援）の流れ～



■ ホームページ <http://dohgi.tomakomai.or.jp>
 ■ メール dohgi@ains.tomakomai.or.jp



3. 地域産業活性化の支援

申請はお問い合わせください

中小企業や団体等が地域の産業活性化のために行う研究活動や交流活動への参画・費用助成など、地域産業の活性化に寄与する事業を実施します。

①ひとづくり・起業支援事業

地域の人材と技術を繋ぐネットワークによるものづくり等の研修・研究活動、ものづくりに関わる人材を育てる活動の支援、地域産業関連の起業への支援のほか、講演事業等を実施する団体等に対し、事業に要する経費の一部を助成

対象事業

- ・ 地域産業関連の起業や地域産業の活性化を目的とする
研修・講演等の事業（大学・公設試験研究機関等との連携事業）

対象経費

会場費、講師の招聘経費、印刷費等

助成限度額
10 万円
10/10 以内

助成事業成果事例

● 苫小牧発明研究会 「自然と遊ぼう! エコ遊び!」

2023年7月8日(土)

◎ 場所: 苫小牧オートリゾートアルテン

苫小牧発明研究会は、自然エネルギーや自然環境の大切さ、ものづくりの世界を広く伝えることを目的に「自然と遊ぼう! エコ遊び!」を実施しました。

小枝を使った小物づくりやイタダリの水鉄砲づくり、しゃぼん玉遊びの道具づくりを体験し、参加した子供たちは笑顔で元気に楽しんでいました。



②地域特産品プロジェクト等助成事業

対象事業

- ・ 地域資源を活用した特産品等の商品化事業、地域の産業おこし、ものづくりプロジェクト
(大学・公設試験研究機関等との連携事業)

対象経費

会場費、原材料費、技術指導費等

助成限度額
10 万円
10/10 以内

4. 経営の支援

申請はお問い合わせください

経営に関する指導助言、販路拡大の取組に対する費用助成など、中小企業の経営基盤の安定化、新事業創出等を支援する事業を実施します。

1) 経営管理支援事業

中小企業の経営力の向上、安定を図るため、人事・労務等の実務に係る情報提供や事業継続計画の策定などの支援を行っています。お気軽にお問い合わせください。

2024年1月24日
「働きやすい職場づくりのセミナー」を、千歳市の千歳アルカディア・プラザで開催しました。参加者からは、「知識の向上に繋がった」との声がありました。



2) 市場拡大等助成事業

中小企業が販路拡大等を図るため、自ら製作した製品を国内展示会に出展する際の経費の一部を助成します。出展する場合は、あらかじめ業務部へお問い合わせください。

① ビジネスEXPO 2024への出展

開催時期

2024年11月7日（木）～8日（金）

開催場所

アクセスサッポロ（札幌市白石区）

対象経費

小間料を助成します。



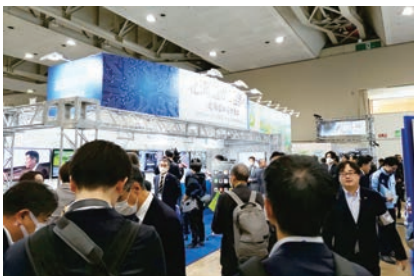
● ビジネスEXPO 2023

道内の中小企業の販路拡大、技術力向上等を目的とし新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大級の展示会で、2日間で約23,000人の来場者がありました。

フードテクノエンジニアリング㈱、㈱岡田建具製作所の2社が当財団の助成を受けて出展しました。

● 開催日：2023年11月9日（木）・10日（金）

● 開催場所：アクセスサッポロ（札幌市白石区）



② その他の展示会出展

道外で開催する展示会に出展する場合、20万円を限度に出展小間料を助成します。

※ 年度内1社1回です。



5. 技術者等の育成

申請はお問い合わせください

各種技術研修等の受講料助成や中小企業の技術者育成に要する費用の助成、専門家による技術支援など技術者等の育成を支援する事業を実施します。

1) 技術研修助成事業

中小企業等が従業員の技術及び知識の習得に必要な研修等の受講料を助成します。

技術研修助成事業（能力開発セミナーの受講料助成）

対象事業

- ・生産現場の実技研修（機械保全、PLC制御等）
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の
下記研修会場で行う能力開発セミナー
（1事業所が同一年度内に受講できる人数に上限があります）



＜研修会場＞

- 北海道職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター北海道）
札幌市西区二十四軒4条1丁目4-1
- 北海道職業能力開発大学校
（北海道ポリテクカレッジ）
小樽市銭函3丁目190番地
- 苫小牧市テクノセンター
苫小牧市字柏原32番地の27



研修会場の様子

2) 技術人材研修助成事業

地域内の中小企業や研究者が人材育成及び技術習得のため、道内外の研究・研修機関で実施する研修会等への派遣、工場等における社内研修に対し、その経費の一部を助成します。

①技術者等人材研修助成事業

対象事業

- ・大学、企業等における研究・研修機関等で行う研修
3日間以上の研修（1企業1名のみ）
交通費、宿泊費、研修参加費の10/10以内を助成

※ 中小企業大学校旭川校で行う3日以上研修も対象となります。



②工場等社内研修助成事業

対象事業

- ・工場等の社内で実施する研修
対象人員の半数以上が受講する研修
講師の招聘経費（交通費、宿泊費、謝金）の10/10以内を助成



3) 専門家派遣助成事業

中小企業が経営革新または経営課題の解決、生産技術の課題解決などを図るため、必要な専門的知識と実務経験を有する専門家から指導、助言等を受けるために要する経費の一部を助成します。

対象事業

- ・経営及び技術上の課題解決を図るため専門家の指導及び助言を受けるために行う事業

専門家の技術指導料・交通費・宿泊費の10/10以内を助成

助成限度額

15万円

6. 産業力強化支援

技術コーディネート事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、技術相談・助言・技術開発及び製品化等のコーディネート活動、技術力・生産性向上の支援や各種補助制度の紹介、申請支援等を行います。

〈主な活動内容〉

- ・技術相談及び助言等の支援活動
- ・産学官情報交流等の活動
- ・産業支援機関等との連携活動
- ・国等のものづくり事業等への支援活動

2022年度

技術開発の芽育成助成事業成果事例

日生バイオ(株)北海道研究所

住所：恵庭市恵み野北3丁目1-13

電話：(0123)37-5533

URL：http://www.nisseibio.co.jp

事業名：未熟(摘果)トマトの高付加価値化加工方法の開発

超高齢社会を迎えている中で、高齢者の骨格筋機能の低下が危惧されています。この骨格筋機能を向上させる素材のひとつとして、未熟(摘果)トマトに含まれるトマチンから変換したトマチジンという成分が筋力低下や筋萎縮を抑えると言われています。

未熟トマトから機能性素材を抽出するためには、毒性を有するトマチンから無毒性のトマチジンへ変換する加工処理が必要であり、この加工方法の開発を目指すとともに、取扱いを容易にするため、同トマトを加工処理した後、デキストリンを対固形分50%で配合し、スプレードライヤーで乾燥させることによって乾燥粉末を得ることができました。



未熟トマトの実



未熟トマトの乾燥粉末



試作用
スプレードライヤー

2023 年度 研究開発助成・人材育成及び支援事業の概要・実績

事業名	事業者	
★ 新技術・新製品開発助成事業		
9.7t 小型船舶の船型変更による燃費の改善	(株) アタカ造船所	苫小牧市
出力切り替え機能付多段式窓下ヒーターの開発	(株) ナカガワ工業	恵庭市
生食用ハスカップの長期保存による商品価値の向上に向けた技術開発	フードテクノエンジニアリング(株)	苫小牧市
外部専門家及びユーザー・顧客を活用した製品開発の促進	(株) 岡田建具製作所	恵庭市
★ 技術開発の芽育成助成事業		
乳牛用サプリメントの新規開発	MF フィード (株)	苫小牧市
IoT 機器を用いたローコストスマート農業のシステム構築	(株) エルス	千歳市
安平産ワイン漬けチーズの市場化に向けた研究開発	㈲プロセスグループ 夢民舎	安平町
★ ひとづくり・起業支援事業		
自然と遊ぼう！エコ遊び！・発明&デザイン 地域宝おこし	苫小牧発明研究会	苫小牧市
安平町誘致企業会「経済セミナー」“北海道明日を創る”	安平町誘致企業会	安平町
★ 市場拡大等助成事業		
ビジネス E X P O への出展（札幌市）	フードテクノエンジニアリング(株) 他	2 社
スーパーマーケット・トレードショーへの出展（千葉市）	(株) 肉の山本 他	5 社
FOOD STYLE Japan 2023 への出展（東京都）	協和製菓 (株)	1 社
フードストアソリューションズフェア 2023 への出展（大阪市）	(株) 四季舎	1 社
★ 技術者等育成事業		
技術研修助成事業	受講者	合計 111 名
技術人材研修助成事業	北海道中央葡萄酒(株) 他	5 社

※事業別助成件数の推移

(年度/件数)

事業名	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
新技術・新製品開発助成事業	4	4	4	4	3	4	4
技術開発の芽育成助成事業	5	2	4	4	1	4	3
製品開発助成事業	1	1	1	1		1	
地域資源活用助成事業	1		1				
地域ものづくり助成事業（2023 年度より上記事業に統合）	1		1	1			
ひとづくり・起業支援事業	2	2	2	1	1	2	2
地域特産品プロジェクト等助成事業			1				
市場拡大等助成事業	14	18	14	9	10	9	9
技術研修助成事業（受講者数）	121	106	131	23	46	64	111
技術人材研修助成事業	1	1	1		2	2	5
専門家派遣助成事業	1	2				1	

財団助成事業紹介

【事業名:生食用ハスカップの長期保存による商品価値の向上に向けた技術開発】

フードテクノエンジニアリング株式会社 北海道営業所



当財団の「2023年度新技術・新製品開発助成事業」において、フードテクノエンジニアリング(株)北海道営業所が実施した「生食用ハスカップの長期保存による商品価値の向上に向けた技術開発」について、担当された細川優子さんにお話を伺いました。

◇御社の業務について御紹介ください

弊社は、1999年8月に大阪府で創業し、食品工場の冷熱・空調設備及び急速凍結装置などの設計・製造・施工・メンテナンスサービスを自社で一貫して行っています。

北海道営業所は、2015年4月、苫小牧市に設立し、現在に至ります。2021年に営業所を新築した際、弊社の特許技術である加湿なしで温度0℃・湿度90%以上を実現する高湿度冷蔵庫のテスト機が一台設置されました。



弊社 高湿度冷蔵庫

◇ハスカップをテーマにした理由を教えてください

弊社の特許「高湿度冷蔵庫」の活用について検討した際、北海道の特産品の長期保管や品質向上に有効であると考えました。

さらに、地元苫小牧ではと考えると、地元産の「ハスカップ」が最適ではとひらめきました。ハスカップは、苫小牧近郊で「ゆのみ」と呼ばれ好まれており、お菓子の食材としても使われ全国的に評価される商品にな



■北海道営業所会社概要

設立：2015年(平成27年)4月
代表：代表取締役社長 野田 憲司
住所：北海道苫小牧市新明町2-6-10
電話：(0144) 84-1470
業種：急速凍結装置等の設計・製造等
URL：<http://www.foodtechno-eng.co.jp/>

りつつあります。

しかし、生食用では苦みや渋味が感じやすく、加工して消費されることが多いのが現状です。何とかハスカップ本来の味覚を産地以外の方々にも広げたいとの思いから、長期保存により熟成させることで付加価値の高い商品にすることができると考え、技術開発のテーマに選定しました。

◇本技術開発の成果を教えてください

通常3日程度しか保つことができないと言われる生食用ハスカップの品質を約一ヶ月保つことに成功するとともに、苫小牧高専の協力のもとで行った味覚センサーでの分析結果では、2週間以上高湿度冷蔵保管することで、熟成が増し味の濃厚さが高まるという結果が出たほか、収穫後すぐに冷凍して保管したものを高湿度冷蔵庫で解凍することで、潰れやシワのない獲れたてに近い状態に戻すことができました。



苫小牧高専所有
味覚センサー(TS-5000ZS)

◇今後の予定・展望などを聞かせてください

生食用ハスカップは輸送時の潰れや傷みが懸念されましたが、収穫後に急速凍結し、出荷先で高湿度冷蔵庫を使用して解凍～熟成を行うことで遠方消費地においても品質の高い商品を届けるといった提案が可能になります。今後も弊社の技術によって食品等の品質向上、より安全なものの提供など、様々な課題に取り組んでいきたいと考えています。



高湿度冷蔵庫を用いた実験の様子

公益財団法人 道央産業振興財団は、 道央地域の“ものづくり”を支援します

《苫小牧市・千歳市・恵庭市・安平町》

『ものづくり』に取り組む企業の皆様に、様々な支援や技術者の育成を通じて、企業力向上のお手伝いをしています。

☆技術コーディネーター

技術力及び生産性向上に向けて、各種補助制度の紹介と申請支援などを行っていますので、ぜひお問い合わせください。



ナカニシ ゲンイチ
中西 玄一



ナカノ ジュンイチ
中野 純一



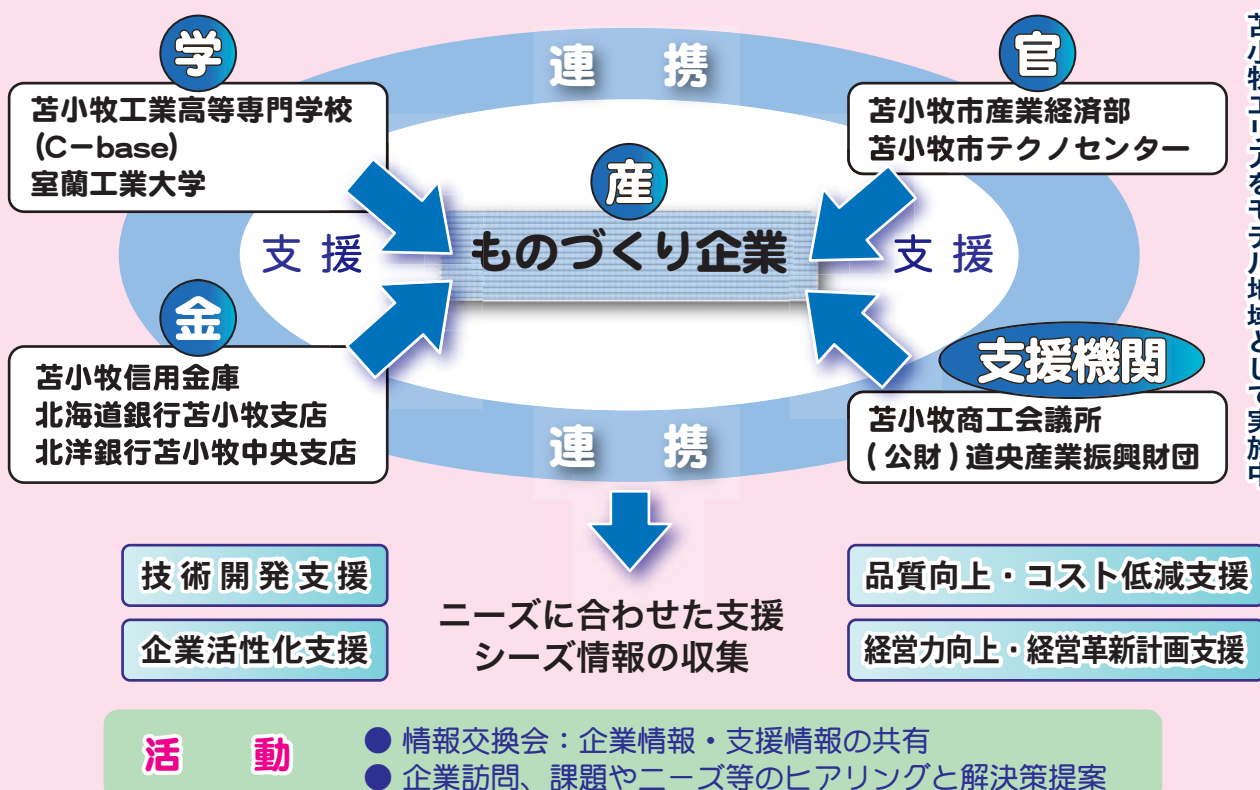
カメタ オサム
亀田 修

☆業 務 部

技術開発・製品開発・人材育成等の財団助成事業の窓口です。

GKK（ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 - 道央圏）

学・官・金の実務担当者がチームを組み、ものづくり企業（道央圏域）の技術支援、各種支援制度の活用、技術情報の提供をはじめ、様々な御相談に応じています。



苫小牧市テクノセンター

地域企業の技術力向上と工業技術高度化への支援を行っています。

- ① 研 究 開 発 支 援 …… 企業が必要とする新製品、新技術の研究開発を推進するための技術的支援
- ① 試 験・検 査・証 明 …… 企業からの依頼による材料試験、精密測定、非破壊検査の実施と成績書の発行
- ① 設 備 機 器 の 開 放 …… 設備機器の取扱指導及び利用開放
- ① 技 術 指 導、相 談・研 修 …… 技術力向上に資するための相談、指導、研修
- ① 産・学・官 交 流 …… 企業と大学・工業高等専門学校及び公的試験研究機関との連携
- ① 情 報 受 発 信 …… 工業技術に関する資料、専門図書及び試験・研究・製品の資料整備と提供

令和5年度 更新機器

輪郭形状測定機

(株) 東京精密 製
SURFCOM NEX 030



【装置概要】

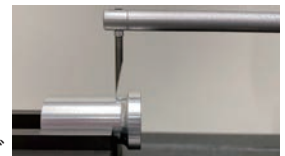
◇物体の表面を触針でなぞり、輪郭形状を測定する機器です。輪郭形状に含まれる円弧の半径、段差の高さ、勾配の角度などを求めることができます。

【用途】

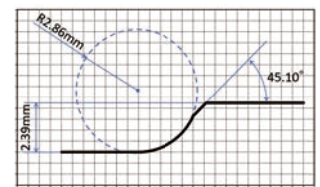
◇製造した部品の寸法を設計図と比較
◇面取りなどの微細な形状の測定
◇短時間で輪郭形状を測定

【仕様】

◇測定物の最大高さ：約 450mm
◇縦方向指示精度：±1.2 ~ 2.4 μm 程度（測定高さによる）



【測定状況】



【測定結果】

苫小牧市テクノセンター

所在地：〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地の27

電 話：(0144) 57-0210・FAX (0144) 57-1122

URL：http://www.tomatech.jp・E-mail tomatech@tomatech.jp



地域の話

「Rapidusの新工場「IIM-1（イーム・ワン）」起工式」が千歳市で行われました

2023年9月1日(金)に先端半導体の国産化を目指す「Rapidus(ラピダス)(株)」は、千歳市に建設する新工場「IIM-1(イーム・ワン)」の起工式及び披露式典を行い、式には国内外の半導体関連会社や建設事業者の幹部ら約200人が集まり、4年後の量産化に向けて本格的に始動しました。

Rapidusは、自動運転やAI=人工知能など大量のデータを瞬時に処理する分野に欠かせない先端半導体の国産化を目指し、トヨタ自動車やNTT等が出資して2022年8月に設立されました。

当社は、世界で実用化されていない回路の幅が2ナノメートル以下の先端半導体の量産化を目指しており、新工場では2025年に試作ラインを、2027年には量産化を目指すとしています。



新工場「IIM-1（イーム・ワン）」起工式の記者会見でジオラマ披露

Rapidusの小池淳義社長は、「いま、まさに千載一遇の機会だと考えている。今日の起工式では、心を新たに全力を尽くしていくことを改めて誓った次第だ。国際的な連携を進めて世界中から優秀な方が集まると同時に、地元 北海道で一所懸命に学んだ方々にも加わってほしい」などと述べ、欧米の研究機関や企業などと連携しながら、人材の確保に努め、大きな夢を実現していくことを強調しました。



公益財団法人 道央産業振興財団
(苫小牧市テクノセンター内)



公益財団法人 道央産業振興財団

当財団は、苫小牧市、千歳市、恵庭市及び安平町における地域技術の応用や地域資源を活用した製品開発、技術コーディネーターによる技術相談・助言・補助事業の支援等を行うほか、各種助成事業、研修事業等を実施し、道央地域のものづくり産業の支援を推進することにより、活力ある地域社会を創出し、地域産業の発展に寄与することを目的としています。

〒059-1362 苫小牧市字柏原32番地の27 (苫小牧市テクノセンター内)

代表電話 (0144) 51-2770

F A X (0144) 51-2780

U R L : <http://dohgi.tomakomai.or.jp/>

E-mail : dohgi@ains.tomakomai.or.jp

